

松戸市立病院だより

第 22 号(2017.7)

編集・発行：松戸市立病院ホームページ部会（旧広報委員会）

〒271-8511 松戸市上本郷 4005 番地 ☎ 047-363-2171（代表） <http://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

病 院 長 あ い さ つ

『松戸市立総合医療センター開院に向けて』

病院長 鳥谷博英



22 年前の阪神淡路大震災の折に当院の強度不足が指摘され建て替え問題が浮上し、やっと平成 29 年 12 月 27 日千駄堀の地に名前も一新した新病院が開院となります。

東日本大震災復興、東京オリンピック開催等タイミングの問題で建築費も高騰し市民の皆様にはご迷惑をおかけしております。外来患者さんが建築の進む新病院を見て早くかかりたいと目を輝かせているのを見ると期待の大きさが実感できます。市民の皆様の内覧会の準備も進めていますのでお待ちください。外観だけでなく、中身も患者さんの期待に応えられる病院にするべく検討中ですので、応援のほどよろしくお願い申し上げます。

目 次

病院長あいさつ	1
新任のご挨拶と所属の紹介（新生児科部長）	2
新任のご挨拶と所属の紹介（小児心臓血管外科部長）	3
新任のご挨拶と所属の紹介（副院長兼看護局長）	4
看護の日イベントを開催しました	5
熱中症の予防について	6
夏バテ予防レシピ	7
院内イベントのお知らせ・新病院情報	8



新任のご挨拶



新生児科部長 吉田和司

今回、前任の喜田部長の後を受け、新生児科部長に任命されました吉田和司です。私は平成12年から松戸市立病院新生児科に勤務し、新生児医療に従事してきました。今後もスタッフ全員で力を合わせて赤ちゃんの命を守っていくつもりです。さらに家族の不安に対しても寄り添う医療を目指していきます。

新生児科

新生児科って？

新生児科とは、分娩予定日よりとても早く生まれた早産児や、病気をもって生まれた赤ちゃんの治療をNICU（新生児集中治療室）で行います。病状が安定した赤ちゃんはGCU（新生児回復治療室）に移り、当院を退院後、予約外来にて発育・発達のフォローを行います。

新生児科スタッフはこんな人！

新生児科の医師は一般的に小児科医または産科医です。新生児に特化した専門的な知識と技術を身につけた上で診療にあたっています。当院の常勤医は小児専門医でかつ、千葉県で十数人しかいない新生児の専門医・指導医であり、児の状態に合った治療を行っています。

東葛北部保健医療圏初 地域周産期母子医療センター

平成28年4月1日に千葉県より認定された当センターは、産科と新生児科を備えた、比較的高度な医療行為を行うことができる施設です。

早産になりそうなため当院の産科に入院し出生した児や、近隣の産科で出生し治療が必要と判断された赤ちゃんを対象として、産科と協力しながら、東葛北部の周産期医療を担っています。

NEW

平成29年12月の新病院開設時にはNICUを増床し、さらに地域の要望に応えていきたいと思っております。

新任のご挨拶



小児心臓血管外科部長 坂本貴彦

平成 29 年 5 月、前部長の石原副院長から小児心臓血管外科部長を引き継ぎ、就任致しました坂本貴彦（さかもと たかひこ）です。昭和 39 年、和歌山県生まれです。平成 2 年に京都府立医大を卒業し、東京女子医大心研とその関連病院で心臓血管外科の研鑽を積んで参りました。松戸市立病院には約 20 年ぶりに帰ってきました。よろしくお願い致します。

小児心臓血管外科

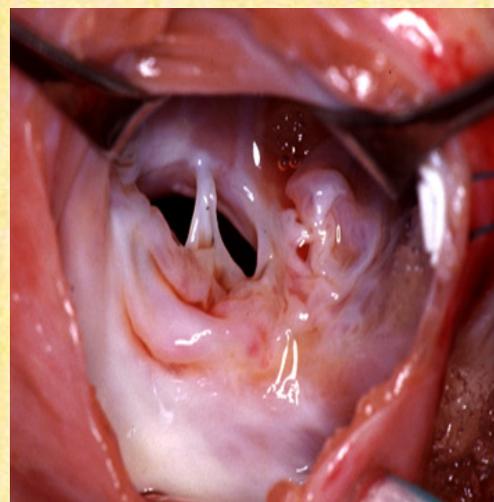
私が専門とする小児心臓血管外科は生まれつき心臓に異常がある先天性心疾患の患者さんの手術を担当する科です。

先天性心疾患は約 100 人に 1 人の割合で生まれてきますが、その多くは原因不明です。多くの方が外科治療：手術を必要としますが、最も良い時期に、効果的な手術をすることが大切です。したがって、私たちの対象患者さんは生まれたばかりの赤ちゃんから成人に達した患者さんまで、多岐にわたっています。

先天性心疾患の治療では各医療従事者のチームワークが非常に大切です。産科、小児科、新生児科、集中治療科の先生方をはじめ、看護師、臨床工学士など多くの方々と協力して、東葛地区を中心とした千葉県北西部の小児循環器医療を発展させたいと考えています。



最も良い時期に
効果的な手術を



心室中隔欠損症

新任のご挨拶

副院長兼看護局長 宮本祐子

この度、4月1日付をもちまして副院長兼看護局長に就任いたしました。医療・看護は高度急性期から在宅医療・介護まで切れ目なく、円滑に一連のサービスを提供するための地域包括ケアシステムの構築により展開されます。地域と連携を図り、地域の皆様の健康を守ってまいりたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。



看護局



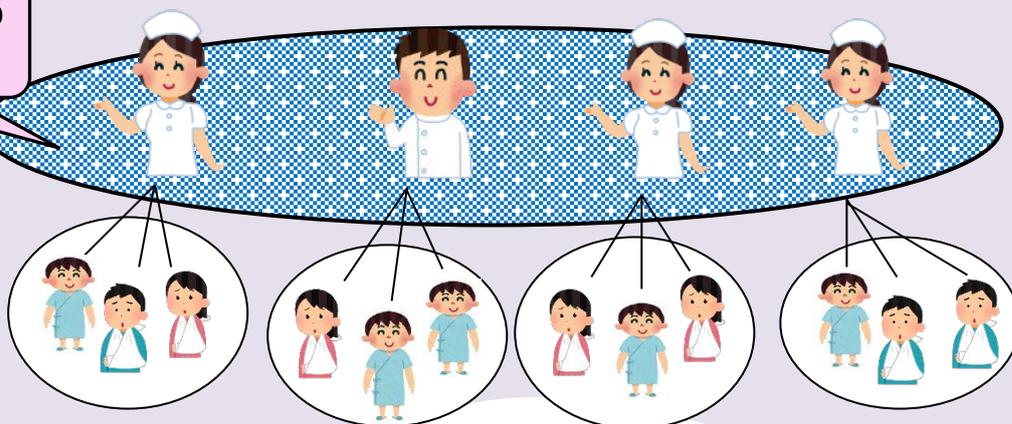
「私たちはすべての人から信頼される安全・安心な看護の提供を目指します」
この理念に基づき、患者さんに安全・安心な医療と看護が提供できるよう取り組んでいます。

看護体制

固定チームナーシングと受け持ち制看護で行います

チーム内で患者さんの
情報を共有

各ナースの
受け持ち患者さん



教育体制

新人教育

急変対応や人工呼吸器の研修を早期から取り入れるなど、急性期病院に求められる看護技術と知識を先輩看護師からのサポートを受けながら、実務のなかで身に付けられるよう教育を行っています。

認定看護師

当院に在職する認定看護師20名が職員からの相談や教育活動にも取り組み、医師との協力体制で質の高い医療の提供を目指しています。

今年度は新病院の移転・開院に向け、「新病院の移転を安全かつスムーズに進めます」を目標に掲げました。患者さんの安全を第一に移動を行い、新病院での業務がスムーズに行えるよう各部署では看護基準・手順の見直し、準備を万全にしたいと考えています。



嬉しい！ 楽しい！ 看護の日！ ～ありがとう松戸市立病院～



「嬉しい！楽しい！看護の日！～ありがとう松戸市立病院～」をテーマとして、5月12日（金）に現病院で最後となる「看護の日」のイベントを行いました。

イベント当日には、ハンドマッサージ・健康相談・栄養相談・血圧測定・妊婦体験・高齢者体験・看護師体験と7つのブースが設置され、たくさんの方々にお越しいただきました。

イベントで盛り上がりました

看護師体験

子供用の白衣を準備し、ちびっ子ナースに変身！！将来は看護師になり、一緒にお仕事をすると約束してくれた女の子がいました。

聞こえるかな？



松戸農産物ブランド PR キャラクター「みのりちゃん」がイベントを盛り上げてくれました。

ハンドマッサージ



「ハートちゃん」塗り絵

4月下旬より、患者さんやご家族の協力のもと塗り絵を行いポスターにして掲示しました。



当院看護師のオリジナルキャラクター「ハートちゃん」



健康相談・栄養相談



毎年、看護師が中心となり企画するこの看護の日のイベント、今年も知恵と工夫を凝らした楽しいイベントとなりました。来年は新病院「松戸市立総合医療センター」での開催となります。どのような企画が飛び出すかご期待ください。

熱中症 予防！

～ 救命救急センター
村田先生からのアドバイス ～

皆さん、熱中症にかかったことはありますか？私は中学時代、炎天下の部活動で何回か経験しました。発症すると体が水分を受け付けなくなり、水を飲んでも吐いてしまいます。こうなってしまうと病院で点滴が必要になりますが、最も大切なのは予防です。最近、夏の暑くなる日の朝にはテレビ番組などで注意喚起をしてくれており、医療者としてありがたく感じています。

熱中症予防の重要ポイント

- ① 暑さを避ける
- ② 水分補給

日中の外出を控える、帽子や日傘の利用、遮光カーテンやすだれを使用する、打ち水なども効果的！！



熱中症による死亡は8割近くが65歳以上の高齢者！

高齢者ほど要注意!!

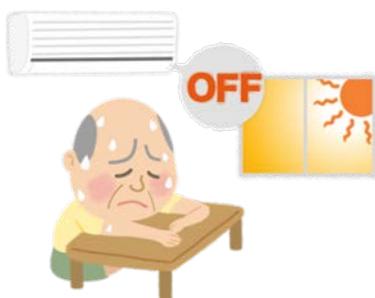
夜間も注意！

多くの方が屋内で発症しており、夜間の発症も少なくありません。

熱中症は気温 30℃を超えると急激に発症が増加しますが、高齢者は若年者に比べて、気温の上昇に伴う熱中症の発症増加が顕著なのです。

人間はその体重の約7割が水でできていますが、年齢とともにその割合は減ります。65歳以上の方は体重の約5割まで減っています。同じ1ℓの水分を喪失しても、体に出る影響は高齢者の方がはるかに大きいのです。

また、ご高齢の方は冷房機器が苦手という方もいらっしゃると思います。暑い夜は窓を開けるだけでは室内が十分に冷却されない日もあり、注意が必要です。



今年の夏は関西を中心に猛暑になると発表されました。市民の皆様、特に65歳以上の方は毎日、最高気温だけではなく最低気温も気にかけていただき、適切に冷房機器を利用し、どうか健やかに夏をお過ごしください。



さっぱりメニューで 夏バテを防ごう!

今夏も暑い夏が予想されます。暑い夏を乗り切るために、以下の5点を心がけましょう。



- 1 規則正しい食生活
- 2 食事はよくかんで
- 3 脂質・糖質の利用にビタミンをしっかり摂取
- 4 緑黄色野菜の摂取
- 5 水分・ミネラル不足に注意する



日頃の食事は、主食・主菜（肉、魚、卵、大豆製品）・野菜を適切にとり、日常生活に必要な栄養をとりましょう。また、冷たいものの摂り過ぎは胃腸の働きを悪くするなど食欲不振につながりますのでご注意ください。

『太刀魚の香味だれかけ』～ 夏バテ予防メニュー ～

太刀魚	1切れ	酢	8g	} ㊤
酒	少々	生姜絞り汁	2g	
塩	ひとつまみ	砂糖	2g	
片栗粉	5g	醤油	5g	
植物油	5g	ゴマ油	3g	
胡瓜	15g			
長葱	10g			
ミニトマト	2個			

- ① 太刀魚は酒をふりかけ、塩で下味をつけておく
- ② ①に片栗粉をまぶし、熱したフライパンで焦げ目をつけ弱火にし、中まで火を通す
- ③ ㊤の材料をまぜ、適当な大きさに切った胡瓜・長葱を漬け込む
- ④ ②に火が通ったら皿に盛り③を上からかけプチトマトを切り飾り付ける

*太刀魚を豚肉や豆腐に代えて冷製にしてもおいしいです。特に豚肉は夏バテ予防の食材としておすすめです。試してみてください。



院内イベント情報

がん患者・家族向け集いの場

がんと診断されたばかりの方や、がん治療中の方、また治療が終わり経過観察中の方など、当院の患者さんだけでなく他院の方も含め、患者さん同士の情報交換・情報共有の場として毎月1回開催しています。

問合せ先

がん診療対策室
047-363-2171
(内線 1667)

緩和ケア教室

がんによるからだの痛みやこころのつらさをやわらげる「緩和ケア」について、毎月1回開催しています。

問合せ先

がん診療対策室
047-363-2171
(内線 1667)

健康教室

肥満、血糖値・血圧・糖質が高めの方や、糖尿病患者様やその家族、またはそれらに関心のある方向けに、健康教室（メタボ教室、糖尿病教室）を毎月2～3回開催しています。

問合せ先

健康管理室 栄養担当
047-363-2171
(内線 1008)

その他、イベントの詳細については市立病院ホームページをご覧ください



平成 27 年 12 月に工事に着手し、平成 29 年 2 月に上棟しました。
5 月には足場を解体し、建物の全貌が現れました。
現在は、9 月のしゅん工、12 月の開院に向け、内装工事・外構工事を進めております。

新病院建設の進捗状況のお知らせ

